

事業評価調書

◎基本情報

年度	2010	会計コード	10	一般会計	事業コード	23645	
事業名	札幌ドーム利用料金減免補てん補助金						
評価担当課	所属コード	観光文化局スポーツ部企画事業課					
	担当者名	門脇	電話番号	211-3044			
政策名							
施策名	主	スポーツを楽しむ環境の充実とウインタースポーツの活性化					
	副						
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費 [<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 内部管理以外] <input type="radio"/> 臨時的経費						
事業内容	目的と内容	<p>コンサドーレ札幌に対する支援として、札幌ドームを利用する際の利用料金の1/3減免措置を講じ、これによって生じる減収相当額を札幌ドームの指定管理者である(株)札幌ドームへ補助金として交付するもの。</p>					
	主たる受益者	札幌ドームという快適な環境でゲームを観戦できる多くの市民					
事業の必要性	<p>コンサドーレ札幌は、札幌で初めてのプロスポーツチームであり、「みるスポーツ」の機会の提供はもちろん、市民が自分のまちのチームとして応援し、支えることを通して、地域の活性化やコミュニティの醸成にも貢献している。</p> <p>しかし、運営会社である(株)北海道フットボールクラブは、自立経営に向けた努力を鋭意続けているが、依然として厳しい経営状況にあることから、本補助金は安定的な試合開催のために必要なものである。</p>						
実施期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度継続 <input type="radio"/> 複数年継続			開始	2001 年度	終了	年度
実施形態	<input type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input checked="" type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他						
関連法令							
他都市の状況	全額免除のほか、9/10～1/2減免など半数近くのクラブが減免措置を受けている。						
関係HP							
関連計画	新まちづくり計画	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外				計画コード	
	政策目標						
	重点課題						
	施策						
	基本事業						
その他関連計画							
環境保全事業	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		目的				
	目標						
	指標					監視測定結果	
環境負荷事業	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		目的				
	目標						
	指標					監視測定結果	

◎事業費

		20年度決算	21年度決算	22年度予算	22年度決算	23年度予算
事業費(A)		26,660	23,994	21,328	18,662	21,328
特定財源	国・道	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源		26,660	23,994	21,328	18,662	21,328
人工		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費(B)		1,600	1,580	1,540	1,540	1,540
計(A+B)		28,260	25,574	22,868	20,202	22,868

事業費の 執行内容	コンサドーレ札幌に対する支援として、札幌ドームを利用する際の利用料金の1/3減免措置を講じ、これによって生じる減収相当額を札幌ドームの指定管理者である㈱札幌ドームへ補助金として交付するもの。
--------------	---

◎指標

指標 1	指標名	週に1回以上スポーツをする人の割合(成人)				
	設定理由	「するスポーツ」の広がり測定できる指標であるため。				
	目標・実績	19年度実績 33.1%	20年度実績 33.2%	21年度実績 35.2%	22年度目標 50.0%	22年度実績 35.4%
指標 2	指標名	直接スポーツを観戦した人の割合				
	設定理由	トップスポーツにふれる機会を提供し、「みるスポーツ」の振興を図る。				
	目標・実績	19年度実績 47.9%	20年度実績 43.4%	21年度実績 43.7%	22年度目標 60.0%	22年度実績 42.8%
指標 3	指標名	シーズン観客動員数				
	設定理由	コンサドーレ札幌の地域への浸透(その度合いを測る目安として記載しているものであり、必ずしも本事業の目標値ではない。)				
	目標・実績	19年度実績 290,676名	20年度実績 247,305名	21年度実績 265,376名	22年度目標 —	22年度実績 193,280名
指標 4	指標名	札幌ドームでのシーズン試合開催数				
	設定理由	快適な観戦環境をより多くの市民に提供するため(その度合いを測る目安として記載しているものであり、必ずしも本事業の目標値ではない。)				
	目標・実績	19年度実績 11試合	20年度実績 10試合	21年度実績 11試合	22年度目標 —	22年度実績 9試合
指標 5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績
補足説明						

【事業担当部局】

市民自治の観点からの評価		(株)北海道フットボールクラブへの支援については、報道等を通じて広く市民へ周知されており、賛否両方の意見が寄せられているところである。このような意見も参考にしながら、事業の方向性及び支援のあり方について検討していく。
妥当性・必要性の検証	成果の視点での検証	札幌ドームは、天候に左右されずに試合観戦が楽しめる大規模施設であることから、同施設で一定数の試合が開催されることにより、より多くの市民に試合観戦の機会を提供することが可能となっている。
	経常的経費 コストや効率性の視点での検証	本補助金については、札幌市・札幌ドーム・北海道フットボールクラブの三者が応分の負担をするとの考え方から、ドーム利用料の1/3である2,666千円を補助金として交付するものである。今後も同社の経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方について検討していく。
	事業の影響縮小	札幌ドームでの試合開催数が減少し、多くの市民がスポーツ観戦の機会を失うなどのマイナス影響が発生するおそれがある。
	臨時経費 実施によるプラスの効果	
	事業を行わなかった場合のマイナスの影響	
課題		同社は依然として厳しい経営状況にあることから、観客動員数アップ、新規スポンサーの確保、効率的な経営による支出の削減等、より一層の経営努力を続けることにより、行政からの支援に依存しない自立した経営の確立を求めていく。
今後の方向	内容	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 ● その他 同社の経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。
	歳出見通し	○ 増加 ○ 増減なし ○ 減少 ○ 予算なし ● その他 同社の経営状況を見極めつつ、適切な支援のあり方を検討していく。
備考		

【2次評価】

--

【外部評価】

--

【改善・見直しの検討結果】

--